



みどりの丘

成田市立吾妻中学校
令和7年度第9号
R7.12.1

《学校教育目標》

「次代をひらき、心豊かにたくましく、生きる力を身につけた生徒の育成」

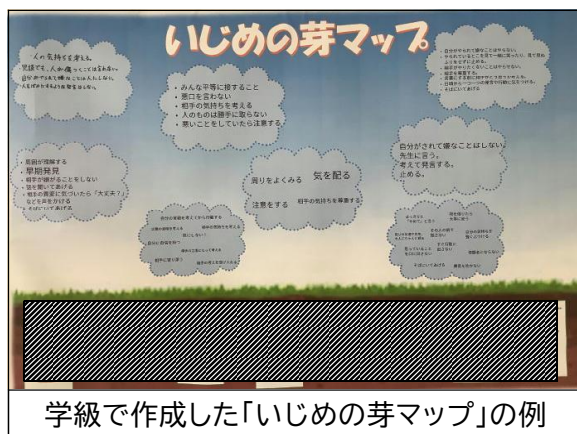
～師も走る月～

いよいよ今年も最後の月を迎えました。ご存じのとおり昔から12月を師走と呼んでいます。「師」はお坊さん（僧侶）を指していて、年末になると、お経をあげるためにあちこちの檀家や寺院を忙しく走り回ることから、「師馳す（しはす）」が転じて「しわす」となり、「師走」という字が当てられたとのこと（諸説あり）。つまり、昔の人はこの月が1年を締めくくる慌ただしい月であることを、お坊さんが忙しそうにしていることに例えていたのです。

さて、そんな12月、みなさんはどのような予定を立てていますか。‘家族旅行’‘家の大掃除’‘初詣’3年生は‘受験勉強のラストスパート’かもしれません。様々な予定があるかと思いますが、ぜひ計画的に1日1日を過ごすことができるように今から準備をしてください。計画を立てることで充実した日々を送りやすくなるはずですから。

～いじめ撲滅運動の取組②～

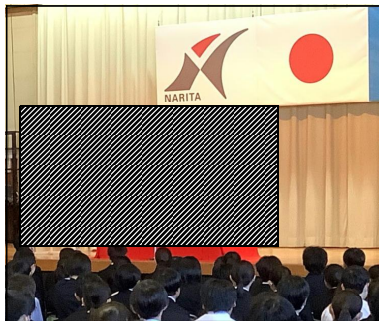
いじめ撲滅運動の一環として、全学年の道徳の授業の中で「なぜいじめは起きるのか～小さな芽に気づく～」という題材で、いじめの原因について話し合いました。いじめに発展しそうな「いじめの芽」を見つけ、それを育てない（早いうちに摘み取る）手立てを考える授業でしたが、どの学級も真剣に意見を出す姿が見られました。普段「いじめはいけない」と漠然と理解している皆さんも、実際に文字に起こして可視化してみると、どんな言動が人を傷つけるのか、どうすればそれを早期に摘み取ることができるのか整理することができたと思います。そして、いじめは特別な場面で起こるのではなく、日常生活の中の小さな行動や言葉から生まれることを理解できたのではないのでしょうか。各学級で作られた「いじめの芽マップ」をみんなで共有し、早い段階でいじめの芽を摘み取れる、そんな集団を学校全体でつくっていきましょう。



学級で作成した「いじめの芽マップ」の例

～今年も「青少年劇場」を開催しました～

今年の「青少年劇場」はどうでしたでしょうか。一昨年度のバグパイプ、手回しオルガンの演奏、昨年度のフルートやパーカッションの演奏と音楽関係が続きましたが、今年は「笑いと学びの時間～中学生のための落語体験授業～」ということで日本の伝統芸能である「落語」に触れる機会となりました。この「青少年劇場」は成田市の生涯学習課が「青少年の情操教育の一環として、良質な芸術文化に触れる機会を提供し、青少年の資質向上を図ること」をねらいとして、皆さんに芸術鑑賞を体験してもらおうと企画しているものです。毎年、貴重な体験をさせてもらっていますが、今年の「落語」はまた格別でした。数名の生徒代表による体験演技もあり、普段少し距離が感じられる「落語」もとても近い存在になったのではないのでしょうか。こういった中でしっかりと楽しみながら学べるのが吾妻中学校の皆さんの素敵なところだと思います。年末を迎え、日本の伝統的な行事を多く体験する季節となります。今回体験した伝統芸能をきっかけに、今一度日本の伝統文化について思いを馳せてみてはどうでしょうか。



落語体験の様子

12月6日(土)にPTA環境美化作業を予定しています。

既に「すぐーる」にて参加の有無を確認をさせていただいていますが、当日の参加も大歓迎です。ご協力よろしくお願いします。
(詳細は11月5日配信の「すぐーる」でご確認ください)